

Plat' Home

 TECHNOLOGY to serve you.

2025年3月期 第1四半期 決算説明資料

ぷらっとホーム株式会社
東証スタンダード 6836

2024年8月9日

目次

2025年3月期1Q

Section 1	ハイライト	P3
Section 2	2025年3月期1Q 決算概要	P5
Section 3	事業構成	P10
Section 4	施策と進捗状況	P17
Section 5	業績予想(2025年3月期)	P20
Section 6	トピックス	P23
	Appendix	P27

Section 1 ハイライト

ハイライト

2025年3月期1Q

1

売上高：増収 売上総利益：増益

(前年同期比)

売上高 : 260.7百万円 +12.2% +28.4百万円 (前年同期 : 232.3百万円)

売上総利益 : 99.8百万円 +11.0% +9.8百万円 (前年同期 : 90.0百万円)

(要因) サービス比率の高いネットワークアプライアンスが増販

自社製品コンピューター、コンピューター関連商品に係るサービスがともに増加

2

四半期純利益：黒字着地

四半期純利益 : 0.1百万円 +34.8百万円 (前年同期 : ▲34.6百万円)

(要因) 営業外収益 : 33.2百万円 +33.1百万円

2024年3月期に実施した実証プロジェクトに対する農林水産省の補助金32百万円が交付

3

戦略：ソフトウェア・サービス型の事業形態への転換

・ソフトウェア・サービス収益の強化

ネットワークアプライアンス製品の開発・販売の強化を継続

・Web3技術とIoTを活用した実証事業を実施

真空サーバーを用いて日本酒業界のDX化を目指す実証事業を開始

花火産業にデジタル技術を活用する連携協定を秋田県大仙市と締結

Section 2 2025年3月期1Q 決算概要

決算概要

2025年3月期1Q

増収・増益

第1四半期黒字着地

自社製品コンピューター：ネットワークアプライアンス、IoTゲートウェイが増販

コンピューター関連商品：前年同期は出荷が集中したため、今期は減販

サービス・その他：自社製品コンピューター、コンピューター関連商品のいずれもこれに係るサービスが増販

単位：百万円	2024年3月期 1Q	2025年3月期 1Q	増減率	増減額
売上高	232.3	260.7	+12.2%	+28.4
営業利益	▲32.3	▲30.9	--	+1.4
経常利益	▲32.2	0.4	--	+32.7
四半期純利益	▲34.6	0.1	--	+34.8

決算概要

2025年3月期1Q

增收・増益

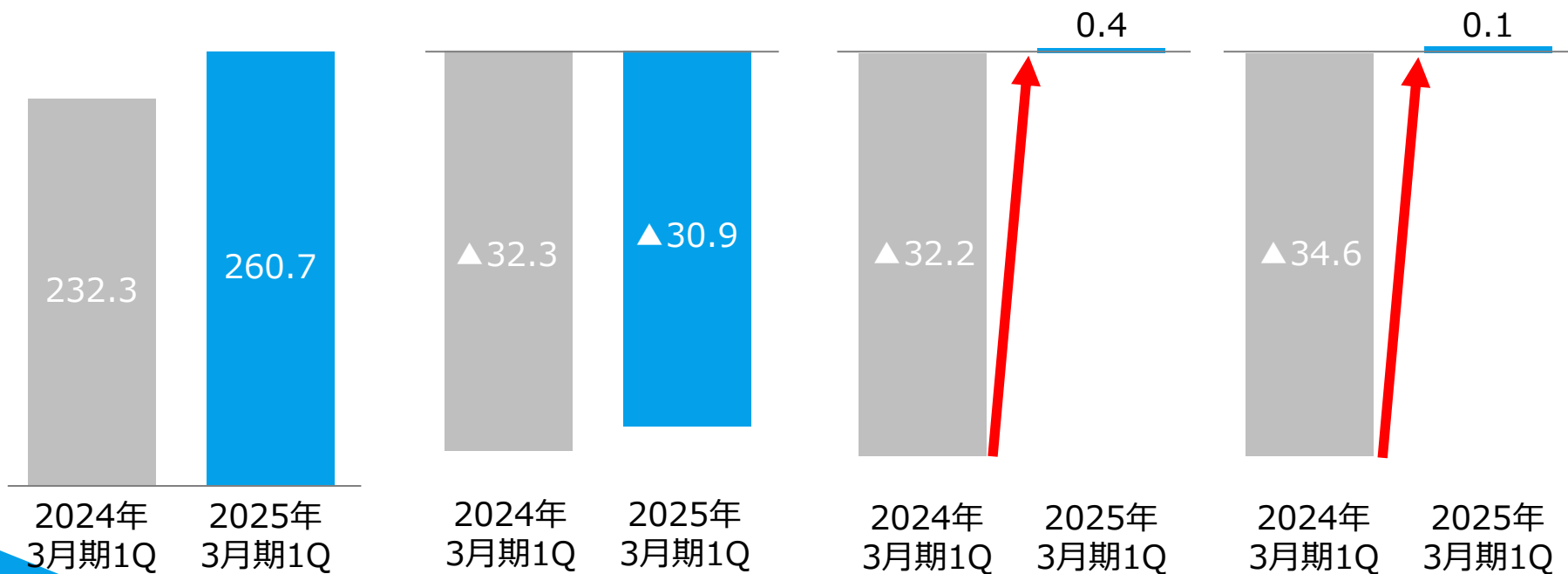
単位：百万円

売上高

営業利益

経常利益

四半期純利益



損益計算書

2025年3月期1Q

単位：百万円	2024年3月期1Q		2025年3月期1Q		前年同期比	
	金額	売上比	金額	売上比	増減額	増減率
売上高	232.3	100.0%	260.7	100.0%	+28.4	+12.2%
売上総利益	90.0	38.7%	99.8	38.3%	+9.8	+11.0%
販管費	122.3	52.6%	130.7	50.2%	+8.4	+6.9%
営業利益	▲32.3	▲13.9%	▲30.9	▲11.9%	+1.4	—
経常利益	▲32.2	▲13.9%	0.4	0.2%	+32.7	—
四半期純利益	▲34.6	▲14.9%	0.1	0.1%	+34.8	—

貸借対照表

2025年3月期1Q

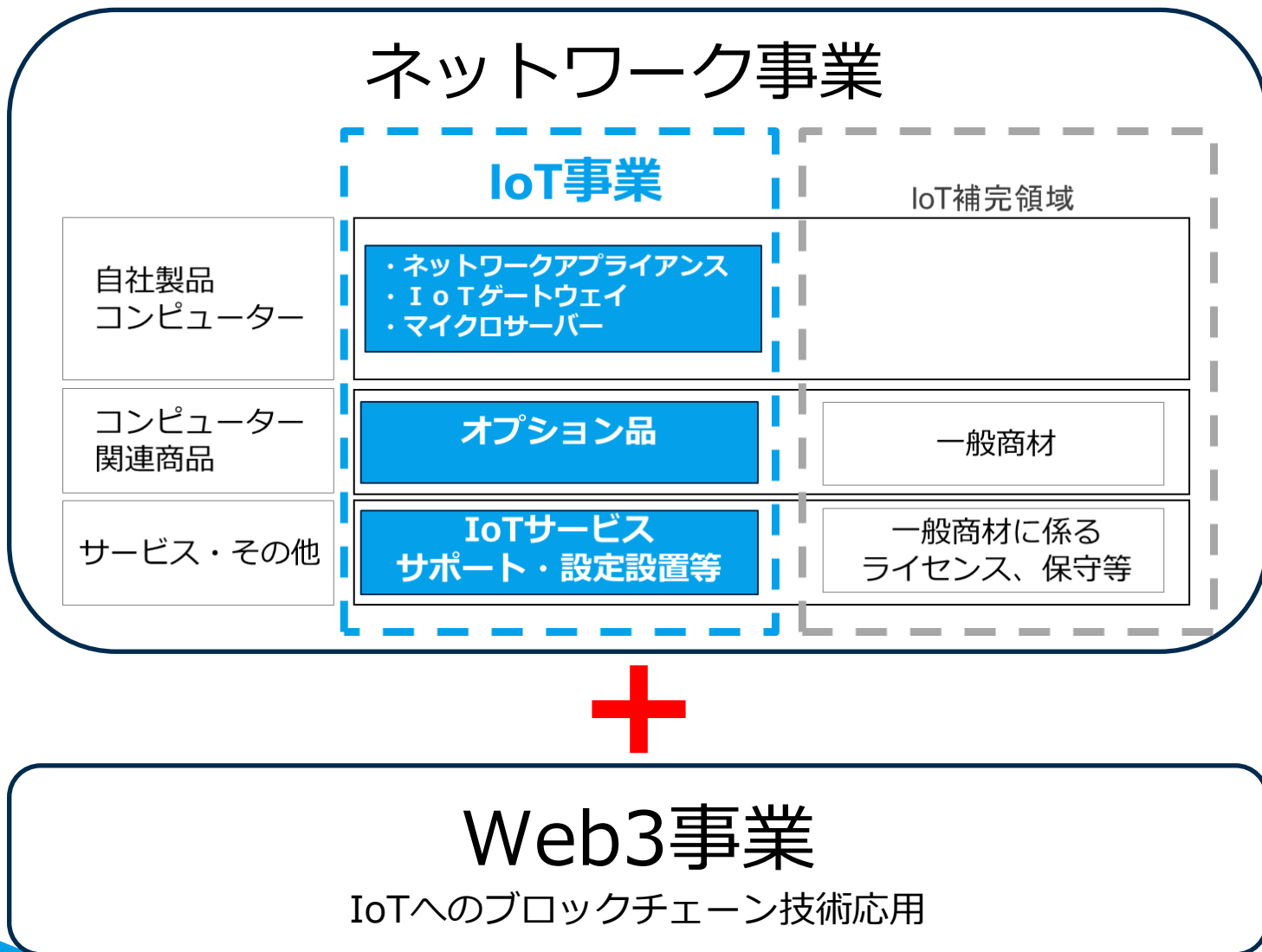
単位：百万円	2024年3月		2025年3月1Q		前期末比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
現金預金	158	24.6%	220	30.3%	+62	+39.4%
売掛金及び 契約資産	152	23.7%	166	22.9%	+13	+9.1%
棚卸資産	263	40.8%	279	38.3%	+15	+5.9%
その他	21	3.3%	12	1.8%	▲8	▲39.8%
流動資産	596	92.4%	679	93.3%	+83	+14.0%
固定資産	49	7.6%	49	6.7%	—	—
資産合計	645	100.0%	728	100.0%	+83	+12.9%
流動負債	251	38.9%	288	39.7%	+37	+15.1%
固定負債	37	5.8%	36	4.9%	▲1	▲3.7%
負債合計	288	44.7%	324	44.6%	+36	+12.6%
純資産合計	356	55.3%	403	55.4%	+46	+13.2%
負債純資産合計	645	100.0%	728	100.0%	+83	+12.9%

Section 3 事業構成

事業構成

2025年3月期1Q

従来のネットワーク事業に加え、
Web3事業の2事業で構成



品目別の状況

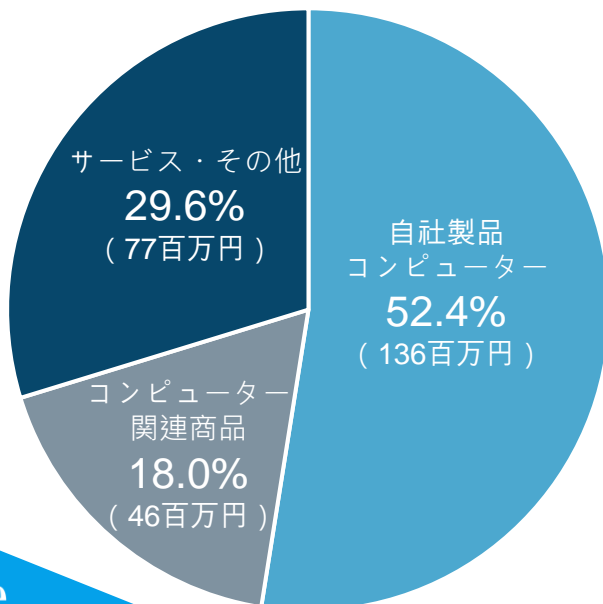
2025年3月期1Q

売上高・粗利益ともに自社製品コンピューターが約5割

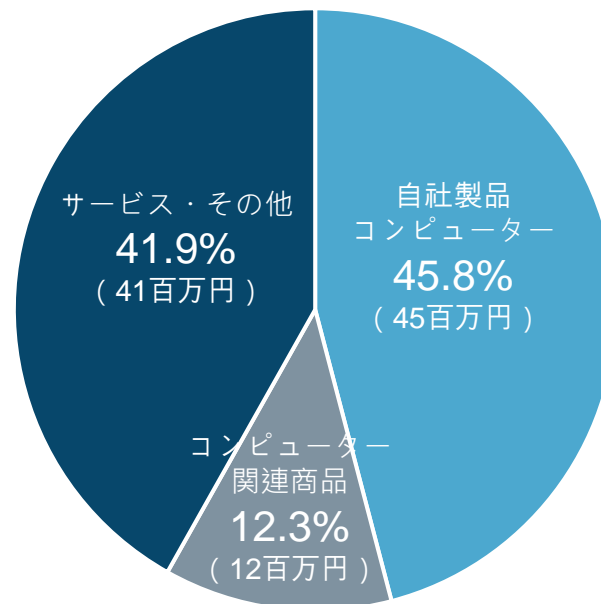
単位：百万円	売上高				粗利益(粗利益率)			
	2024年 3月期1Q	2025年 3月期1Q	増減額	増減率	2024年 3月期1Q	2025年 3月期1Q	増減額	増減率
自社製品コンピューター	114	136	+22	+19.5%	42(37.2%)	45(33.5%)	+3	+7.7%
コンピューター関連商品	64	46	▲17	▲27.6%	14(22.6%)	12(26.2%)	▲2	▲16.4%
サービス・その他	53	77	+23	+44.9%	32(61.5%)	41(54.1%)	+9	+27.5%
合計	232	260	+28	+12.2%	90(38.7%)	99(38.3%)	+9	+11.0%

構成比

売上高



粗利益

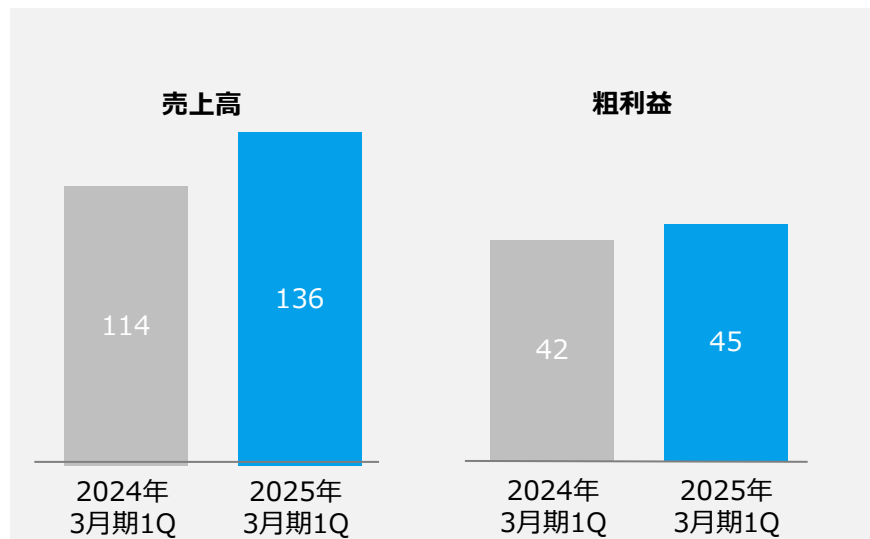


品目別の状況(自社製品コンピューター)

2025年3月期1Q

増収増益

単位：百万円	2024年3月期1Q	2025年3月期1Q	増減率	増減額
売上高	114	136	+19.5%	+22
粗利益	42	45	+7.7%	+3



【要因】

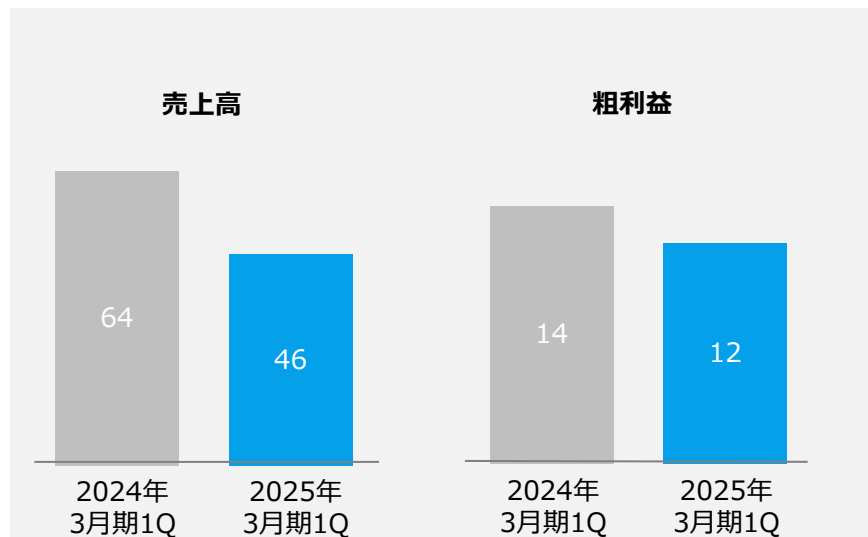
- ・ネットワークアプライアンス製品：増販
- ・IoTゲートウェイ製品：増販
- ・マイクロサーバー：前年同期に出荷が集中した案件があったため減販
- ・IoTゲートウェイは既存案件の出荷が順調に推移

品目別の状況(コンピューター関連商品)

2025年3月期1Q

減収減益も高水準の利益率を維持

単位：百万円	2024年3月期1Q	2025年3月期1Q	増減率	増減額
売上高	64	46	▲27.6%	▲17
粗利益	14	12	▲16.4%	▲2



【要因】

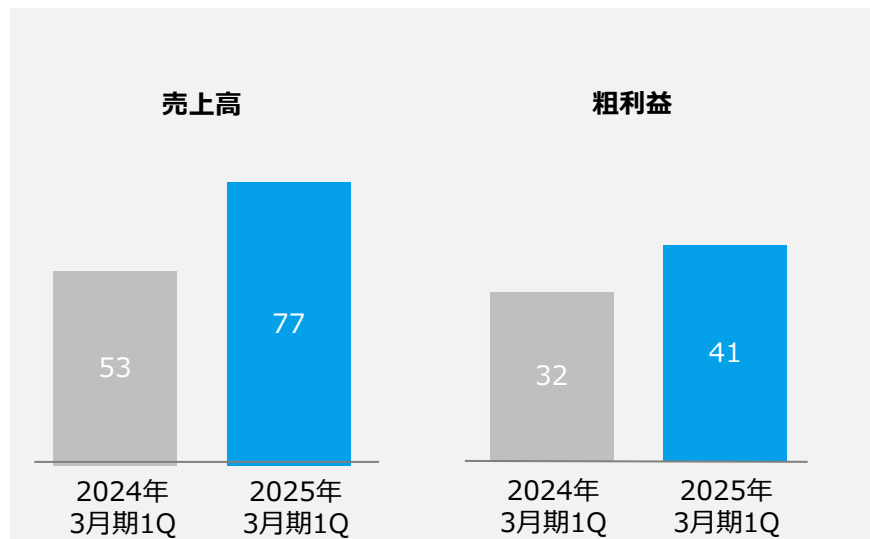
- ・ 前年同期：半導体不足のために遅延していた商品の入荷が再開されたため販売が集中
→今年度はそれが落ち着いたため減販
- ・ **売上総利益率は26.2%**(前年同期は22.6%)

品目別の状況(サービス・その他)

2025年3月期1Q

増収増益

単位:百万円	2024年3月期1Q	2025年3月期1Q	増減率	増減額
売上高	53	77	+44.9%	+23
粗利益	32	41	+27.5%	+9



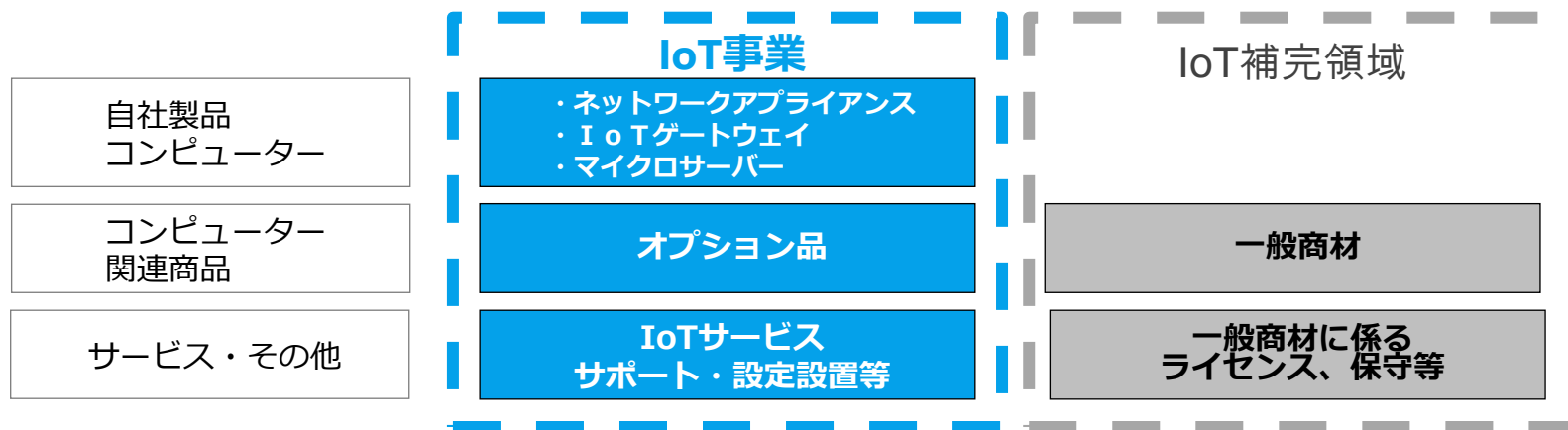
【要因】

- ・ 自社製品コンピューターに係るサービスに加えて、コンピューター関連商品に係るサービスも増加

事業構成

2025年3月期1Q

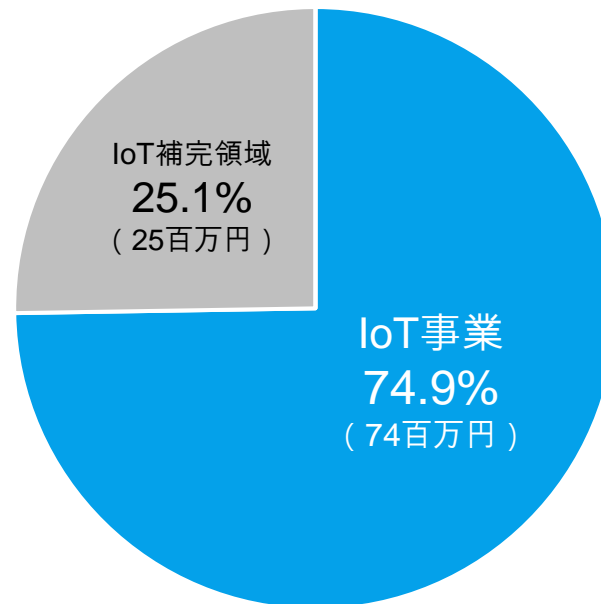
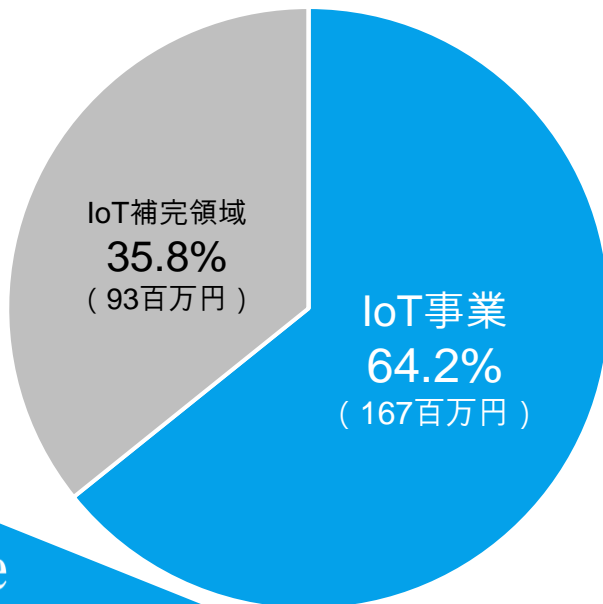
売上高の6割強、粗利益の7割強がIoT事業



構成比

売上高

粗利益



Section 4 施策と進捗状況

施策と進捗状況

2025年3月期1Q

ハードウェア中心の事業形態から ソフトウェア・サービス中心の事業形態へ

施策

進捗状況(1Q)

ソフトウェア・サービス収益の強化

- ・専用ソフトウェアを搭載し付加価値を高めたネットワークアプリケーション製品を収益化の柱の一つと位置づけ、この開発・販売の強化を継続

ブロックチェーンを活用したIoTによるWeb3領域への参入

- ・真空サーバーを用いて日本酒業界のDX化を目指す実証事業を開始
- ・花火産業にデジタル技術を活用する連携協定を秋田県大仙市と締結

施策と進捗状況(Web3事業)

2025年3月期1Q

INTMAXと「モノ」を記述するRWAの 汎用トークンプロトコルの商用化に向け事業提携



ThingsTokenでINTMAXと戦略的パートナーシップを発表

本パートナーシップは、弊社が開発する「ThingsToken™ ※」と、INTMAXが開発する、Ethereum (L1) に対しスケーラビリティとプライバシーを大幅に拡張する新しいLayer 2 技術「Plasma Free」を組み合わせ、近年著しい伸びを見せる金融分野でのRWA (Real World Asset) の対象を、モノや様々なアセットを含む非金融の資産へ大幅に拡大するものです。

現実資産 (RWA) トークン化市場は、2030年までに320兆円規模に成長すると米大手コンサルのマッキンゼーが予測しており、本パートナーシップを通じて、従来のRWAの枠組みの拡大を積極的に具体化していきます。

※ThingsToken :

ThingsToken™は、現実世界の資産をブロックチェーン上に仮想化できるトークンシステム及びその技術です。現実世界の資産 (RWA: Real World Asset) のモノや設備・デバイス群を仮想化することで、Web2の世界をWeb3の世界へ結び付け、現実資産に関連したトークンエコノミクスを加速します。ThingsToken™ はぷらっとホーム株式会社の登録商標です。

Section 5 業績予想(2025年3月期)

業績予想(2025年3月期)

増収・増益予想

売上高：ネットワークアプライアンスに注力

利益：Web3実証事業の補助金収入を見込む

単位：百万円	2024年3月期 (実績)	2025年3月期 (予想)	増減率	増減額
売上高	998	1,160	+16.1%	+161
営業利益	▲101	▲40	--	+61
経常利益	▲101	20	--	+121
当期純利益	▲107	15	--	+122

ハードウェア中心の事業形態から ソフトウェア・サービス中心の事業形態へ

ネットワークアプライアンスの強化

ネットワーク事業は「ネットワークアプライアンス」に注力。
IoTゲートウェイとマイクロサーバーは既存顧客・既存事業の
維持・成長をサポートする。

Web 3 事業の商業化

年度内の商業化を目指し、実証事業を継続。

Section 6 トピックス

ネットワークアプライアンス製品の強化

リソース・トラフィック監視が可能なアプライアンス製品 「EasyBlocks リソース監視」を製品化



「EasyBlocks リソース監視」

既存の監視アプライアンス「EasyBlocks 監視」をベースとし、新たにリソース監視機能やトラフィック監視機能を組み込み、死活監視はもちろんネットワークのトラフィックやサーバーのリソースの監視及び利用状況の可視化を実現する製品。

主な機能

死活監視機能

- ・ Ping監視
- ・ ポート監視
- ・ サービス監視
- ・ ユーザー定義監視

リソース監視機能

- ・ ネットワークトラフィック監視
- ・ CPU使用率監視
- ・ メモリ使用率監視
- ・ ストレージ使用率監視

表示機能

- ・ トラフィック量のグラフ表示機能
- ・ 各種リソース使用率のグラフ表示機能
- ・ 監視マップ機能
- ・ 監視結果 履歴表示機能

第三者割当による新株式発行

(第三者割当による新株式の発行)

2024年4月11日開催の取締役会決議に基づき、次のとおり第三者割当により新株式を発行。

(1)募集株式の種類及び数	普通株式	65,100株
(2)払込金額	1株につき	718円
(3)払込金額の総額		46,741,800円
(4)増加する資本金の額		23,370,900円
(5)増加する資本準備金の額		23,370,900円
(6)割当方法	第三者割当の方法による	
(7)払込期日	2024年4月26日	

Plat' Home

 TECHNOLOGY to serve you.

本件に関するご連絡先
ぷらっとホーム株式会社 IR担当
03-5213-4376（平日9:30-17:00）

（注）スライドに記載された当社の見通し、戦略等は将来の市場動向、消費動向、経営環境その他予測不可能な要素により、異なる結果となる恐れを含んでおります。このため弊社は今回発表した内容を全面的に確約する義務を負うものではありません。

Appendix

ぷらっとホーム株式会社 会社概要

設立：1993年3月

決算期：3月

上場：東証スタンダード 6836

資本金：1億2,337万円

社長：鈴木 友康

(2024年4月26日現在)

社員数：34人 (2024年6月30日現在)

売上：9億9,894万円 (2024年3月期)

主な事業内容：

- IoTゲートウェイや各種ネットワークサーバー用途に最適な、Linuxを始めとするオープンソースソフトウェアを装備した自社製品コンピューターの開発・販売
- 自社製品を補完する商品を中心とした周辺機器/ネットワーク機器の販売
- 製品のリモート管理サービスやIoTコンサルティング・ソリューションなどのIoTサービス及び自社製品に係るサービス、保守の提供

当社ミッション

「自由で安全なコネクテッドワールドの実現」

事業展開 独自成長とアライアンス両面での成長

当社は2つの事業を通じて
「自由で安全なコネクテッドワールド」
の実現を目指します。

自由で安全なコネクテッドワールドの実現

ネットワーク事業

Web3事業

I O T 事業

I O T 補完領域

データ伝送・流通

当社独自の強みを生かして
さらなる成長と拡大を実現

アライアンスにより
新たなる成長を目指す

ぶらっとホームの事業領域

当社ミッション「自由で安全なコネクテッドワールドの実現」

PHYSICAL WORLD



あらゆるデバイスをインターネットへ
取扱商品（センサー）の拡充

コア・コンピタンス
IoT事業

CYBER WORLD



デバイス管理・リモート管理
データ流通・伝送基盤

より利便性の高い社会の実現へ
地方公共団体・電力会社
交通・物流・公共施設

より豊かなくらしづくりの実現へ
ビルマネジメント・ビル設備・照明システム
自動車・エネルギー・各種製造業・建設業

より安全な社会の実現へ
地方公共団体・教育機関・医療機関
警備・保険・セキュリティ

当社が培ってきたIoT事業を核に周辺領域へ事業を拡大

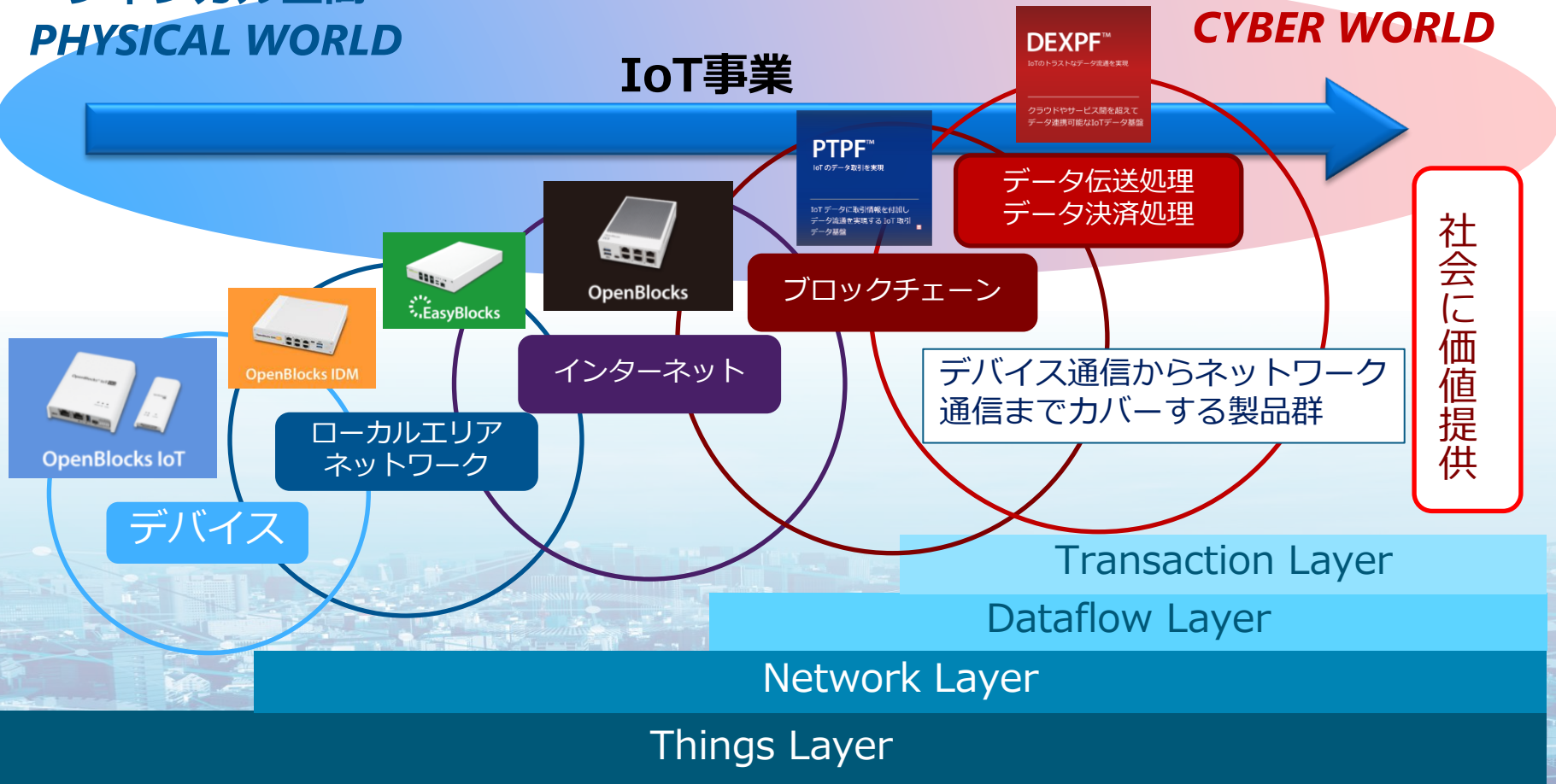
ぶらっとホームの事業領域

「自由で安全なコネクテッドワールドの実現」

フィジカル空間
PHYSICAL WORLD

サイバー空間
CYBER WORLD

IoT事業





当社事業による社会貢献

環境への配慮

- 当社は、SDGsが採択される以前から、ISO14001を取得し、喫緊の課題である環境問題に向き合い、その解決に向けて取り組んできた。

SDGsへの取り組み

- 当社の技術力により、産業界におけるIoT化を促進。産業と技術革新の基盤を創出（SDGs目標9）
- 大型で電力を消費するサーバーに代替する製品として、当社製品は小型かつ電力消費量低減を実現。製造者としての「つくる責任つかう責任」（SDGs目標12）
- 当社のパートナー戦略は、持続可能な開発に向けて実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化（SDGs目標17）

当社の事業展開により、顧客とともにカーボンニュートラルに取り組み、SDGsを実現し、社会に貢献してまいります。